

六甲アイランドだより

地域広報紙

2013年8月8日(木)発行
自治会報 第59号

発行人 前野 正美
編集 自治会 広報部
発行者 六甲アイランドCITY自治会
神戸市東灘区向洋町中2丁目8番地
TEL (078) 857-7375 FAX (078) 857-7376
H.P=http://www.ric.jp/
Mail=ric-jichikai@ricv.zaq.ne.jp
印刷 (株)甲南堂印刷

第22期六甲アイランドCITY自治会開始にあたって

6月9日に開催の六甲アイランドCITY第21期定期総代会で、会長として承認を頂きました。イーストコート3番街の前野正美と申します。

私はこの六甲アイランドに住んで21年目になりますが、六甲アイランドには自然豊かなシティヒルや、彫刻の佇む街角ひろばがあり、美術館は3つもあり、2つのホテルと、人にやさしい多くの人々が住まいるなど、日本一、いや、世界一住みやすい街であると確信しています。このところ、島内の商店や有力企業の撤退などがあり、六甲アイランドの地盤低下と評する方もありますが、私は必ずしもそうとは云えないと思います。人口は年々増えているからです。25年前、ウエストコート4番街への入居の始まった当時は2,046人でしたが、今年6月の集計では18,000人を超えました。この1〜2年、新しいマンションも建ち、若い世帯が多くなって幼稚園や小学校に入る子供の数が格段に増えているからです。

住民の構成は、スタート時より40%近く変わっているとされますが、自治会活動の住民の皆さんへの周知や行事への参加数は執行部の期待より必ずしも多くありません。その対応の改善が必要との、反省と心構えをもって、22期活動に取り組みます。



自治会長 前野 正美

その対応と重点活動方針

(1)各管理組合理事会を訪問し相互理解を深める

毎月第4土曜日に開催している自治会役員会の情報交換や討議の様子を説明し、自治会活動への理解とご協力をお願いいたします。役員会議事録は従来ホームページで開示してきましたが、ペーパーでも作成、各管理組合の掲示板でも掲示をお願いし、住民の皆さんに自治会活動へのご理解と参加促進を図ります。

(2)広報活動の充実

六甲アイランドだよりの発行回数を増やしたり、情報ハンドブックの第4版を発行します。この情報ハンドブックは島内の各種情報を記載したものです。最大の目的は、住民の皆さんに六甲アイランドの素晴らしさを再認識頂くと共に、この島に住むことに誇りを感じて頂くことにあります。

(3)南海トラフ地震への対応をどうするか

災害には、先ずにご家族の自助、マンション毎にお隣同士の共助。六甲アイランド全体では、各街区の状況把握、そして行政関連機関との連携という順となりますが、防災を担当する生活安全部は、自治会の役員会とは別に、各管理組合選出の防災担当者会議を月1回ペー

(4)安心して暮らせる環境の維持・保全・改善

春・秋のクリーン大作戦や、年2回の街路灯点検、ごみのポイ捨て禁止など美化の啓蒙活動を推進します。

(5)住民のコミュニケーションを深める

六甲アイランド最大のイベ

(6)新しくスタートする青年部活動に期待してください

この島で育った若い人たちがコミュニケーションづくりを推進します。7月15日にはスポーツGOMI拾い競技(西日本では最初)を実施しました。サマ

ーイブンニング・カーニバルでは万歩計を使った「ふりふりダンス大会」を開催するなど、若らしい企画を実施します。

以上は、本年度の主な活動計画・方針ですが、各管理組合理事会を訪問した際に理事の皆さんから、住民の方がたがより身近に求める活動のヒントを得られるものと期待しています。

六甲アイランドの街区紹介

この度、E4戸建街区とW5戸建街区が神戸市との建築協定締結20年で表彰を受けたと聞き、今回、E4戸建街区でこれまでに建築協定委員としてもご尽力されたE4戸建街区代表の速水弘様にお話を聞きました。



Q まず、表彰を受けられた背景を教えてくださいいただけますか。

A 六甲アイランドにマンション、住宅が建築され、街並みができた時に神戸市からその町並みが表彰されました。そしてその住環境保全のために戸建住宅に関して建築協定が締結されました。E4戸建街区は、その後10年毎に協定内容の見直しを図ってきました。昨年、E5戸建街区が20年の表彰を受け、今年、E4戸建街区、W5戸建街区が20年越えたことで表彰を受けました。

Q これまでに協定見直しに関してご苦労などございましたか。

A 協定の有効期間は10年や20年など短くも長くも設定できますが、E4戸建では10年として見直しを図ってきました。協定の見直しに当

たつては、一戸ずつ全ての意見を確認しなければならぬのでなかなか大変です。今回は街区全戸にアンケートを実施しました。

Q 建築協定の内容や見直しのポイントはどこのようなものでしょうか。

A 阪神淡路大震災の際は、衛星放送を備えていて正確な情報が入ったということもあり、10年目の見直しでアンテナ規制を緩和し、太陽光発電パネルを屋根につけることなどを神戸市に認めていただきました。今回の20年目の見直しでは世代交代が進んだので2世帯同居を認めていただく内容となりました。玄関を2つにしたり、同居世帯は親子などの身内とするなどです。建築協定の内容は神戸市のホームページでも見ることが出来ます。

Q 最後に表彰状をお持ちになった写真を撮らせてください。

A これですらういでしょうか。



有難うございました。住民の皆様のご苦労のもとに街並みが保全されているということがよく分かりました。

六甲アイランドのボランティア紹介

この街では、色々なボランティア活動が行われています。皆さんもボランティア活動に参加して、住人の方々とコミュニケーション、人の輪を広げていきませんか。六甲アイランドだよりでは、本号から様々な六甲アイランドのボランティア活動を紹介させていただきます。今回は、平成4年2月から続けられている向洋地域福祉センターの活動を代表者の柴谷正男様にご紹介いただきました。

向洋ふれあいのまちづくり協議会(ふれまち)は市役所より運営を委嘱され向洋地域福祉センターを管理運営しています。ボランティア活動の内容は以下の通りです。

(1) センターの管理運営

センターを利用する団体への申し込み変更等受付、利用金の受領、防火管理、各種事務、利用者の安全確保等をふれまち委員長より委任され実施。各行事はポスター、チラシ等で作って各街区・団体の掲示板に掲示しています。地域福祉センターはコミュニケーションの場です。支えられたり支えたりです。地域交流や異世代交流も行っています。ボランティア活動には保険もかけております。お気軽にお問い合わせください。

(2) ふれまち行事等における応援

ふれまち行事の講座・学習会、福祉施設との交流時での応援、各団体の事業における調理応援、みまもり、受付対応等の実施。

(3) ちょっとボランティア運動の推進

ちょっとした日常生活における困りごとを地域住民の少

しの協力で支え合う活動。利用者の募集、申し込みを行いながら住民同士で支え合える仕組み作り。

(4) 身近な相談機能づくり

住民にとって気軽に利用できる



異世代交流農業体験



クリーン大作戦ソーマンふるまい

お問い合わせ

向洋ふれあいのまちづくり協議会
(向洋地域福祉センター内)
TEL&FAX 078-857-5347

スポーツGOMI拾い

「ゴミ拾いはスポーツだ!」の掛け声のもと、関西で初めてのスポーツGOMI拾いが7月15日に六甲アイランドで開催されました。

スポーツGOMI拾いは、チームで協力してごみを拾い歩き、集めた量をポイントに換算して合計を競うイベントで、あいにくの雨でしたが、54チーム約250人と多くの方が参加されました。

今回、まちの各種団体、企業のご協力をいただき、自治会青年部が初の大規模なイベントとして主体的に取り組みました。



編集後記

暑い夏は、規則正しい生活リズムを保つことが夏バテ防止の秘訣かもしれません。8月22日からラジオ体操(後期)がリバーモールではじまります。あなたも朝から体を動かしてみてください。

お問い合わせ先

六甲アイランドCITY自治会
(RICふれあい会館) 広報部 井藤まで
TEL 857-7375 FAX 857-7376
E-MAIL ric-jichikai@ricv.zaq.ne.jp



六甲アイランドCITY自治会 フォトコンテストのご案内

今年も自治会フォトコンテストを開催します。案内は10月ごろを予定しています。今から六甲アイランドの様々な写真を撮りだめしておいてください。

今年のテーマ

- 六甲アイランドの行事
- 六甲アイランドの四季

